



2025 年 11 月 10 日

各位

会 社 名 株式会社ゼネテック
(コード番号: 4492 東証スタンダード)
代 表 者 名 代表取締役社長 上野 憲二
問 合 せ 先 経営管理統括部 石川 和典
経営企画グループ長 (TEL 03- 6258-5612)

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2025 年 5 月 15 日に公表いたしました 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想の修正（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,500	百万円 100	百万円 86	百万円 50	円 銭 4.34
今回修正予想 (B)	5,110	151	158	85	7.43
増減額 (B-A)	△389	51	72	35	—
増減率 (%)	△7.1	52.0	83.5	71.1	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	3,993	358	354	185	16.24

2. 業績予想の修正理由

当第 2 四半期（中間期）における連結売上高は、システムソリューション事業において引き合いは総じて堅調でありましたが、特にシステム開発領域の需要が想定以上に低調であったこと、エンジニアリングソリューション事業の 3 次元シミュレーションソフトウェア「FlexSim」において、当中間連結会計期間を通じて米国関税政策による先行き不透明感の影響もあり、主たる顧客となる大手製造・物流企業の設備投資姿勢が慎重であったこと等から、前回予想を下回る見込みとなりました。

一方、利益面については、上記減収に伴う減益影響はあったものの、2025 年 3 月に完全子会社化した株式会社モアソンジャパンの貢献が計画以上であったこと、また、本社費の削減が寄与した結果、前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期連結業績予想につきましては、第 3 四半期以降の市場動向や外部環境が不透明なことから、現時点では前回公表の予想を据え置いております。今後の業績動向を踏まえ、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上